

平成 26 事業年度の業務実績報告書 小項目 2 番の評価について

(呼吸器・アレルギー医療センター 役割に応じた医療施策の実施及び診療機能の充実)

年度計画目標値設定した項目の達成状況

	単位	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績	目標に対する 増減率	目標対比 評価
在宅酸素療法患者数 (年度末)	人	320	282	88.1%	Ⅱ
同新規患者数	人	130	105	80.8%	Ⅱ
広範性／難治性アト ピー性皮膚炎患者数	人	4,000	3,120	78.0%	Ⅱ⇒Ⅲ相当
食物チャレンジテス ト実施件数	件	1,300	1,310	100.8%	Ⅲ
肺がん新入院患者数	人	1,400	1,273	90.9%	Ⅲ
肺がん手術件数	件	140	166	118.6%	Ⅲ

○ 補足説明概要

- Ⅰ 広範性／難治性アトピー性皮膚炎の患者数減少については、第 1 回委員会での説明で、Ⅱ 評価相当の実績値ながら、重症例等への診療状況からⅢ評価相当の取り組みであるをご理解いただけたと考えている。
- Ⅰ よって、年度計画目標値としてはⅢ評価が 4 項目、Ⅱ 評価が 2 項目となり、目標設定項目の過半数を占めている。
- Ⅰ 呼吸器・アレルギー医療センターの年度計画には、これら 6 項目の数値目標以外に、数値目標の設定が困難な医療施策（結核・感染症、周産期医療など）の提供も位置づけているところ。
- Ⅰ 結核・感染症については、多剤耐性結核患者への対応をはじめ、結核医療を適切に実施したほか、平成 26 年度には感染症病床を開設し、患者の受入に備えてマニュアルや医療機器を整備する等、大阪府からの要請に応えたと考えている。
- Ⅰ 周産期医療についても、周辺地域における分娩取扱い施設の相次ぐ休廃止をカバーし、年間 900 件を超える分娩を扱った。
- Ⅰ また、安全・安心な周産期医療を提供するため NICU を設置するなど、地域のニーズに responding している。
- Ⅰ これらを総合して考えると、呼吸器・アレルギー医療センターに期待されている役割については、概ね果たすことができたと考えており、自己評価においてⅢ評価が妥当と判断した。